

日本人の2人に1人ががんになる時代

もし、あなたががんになるならどちらのタイプ？

タイプA

がん検診を受けて早期がんを発見治療する！

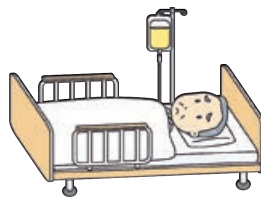
内視鏡や低侵襲手術

早期がんは治る！健康寿命が取り戻せる！



タイプB

がんは時の運
進行がんが発見されても医学の進歩を信じてがんばる！



年間1000万円の
高額治療（3割負担）

治療は数年間続くことも…
家族の支えがあるから大丈夫と思っても、
数年後にからだが弱ってしまう場合もあります。



私は、絶対**タイプA**をオススメします！
がん検診を受けて元気に健康長寿を目指しましょう！
5大がん検診（肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん）は難しくなく、
費用も安いです。

【諏訪中央病院 がん治療認定外科医 飛田 先生】

大腸がん検診（便潜血反応検査）の追加実施やります！！

今年度まだ検診を受けていない方はこの機会にお申し込みください。

＜検診について＞

- 対象者：35歳以上の方
(平成3年4月1日以前生まれの方)
 - 実施期間：令和7年11月～令和8年1月
 - 実施場所：茅野市健康管理センター
 - 自己負担額：200円
 - 検査方法：
 - ①申し込みをする → 大腸がんの容器をお送りします
 - ②送られてきた容器に2日分の便をとる
 - ③検診票と一緒に健康管理センターへ提出する
 - 申込方法：お電話または申し込みフォーム（QRコード）から
お申し込みください。お申し込みを
した方に詳細のご案内を送ります。
- ※大腸がん検診は1年に1回の検診です。
すでに今年度大腸がん検診を受けた方は受けられません。

大腸がん検診 便潜血検査&問診

自宅で便をとるだけの簡単な検査で
痛みも食事制限もありません。

採便棒で便の表面全体をこすり取る。

1回目 2回目

提出日に合わせ2日分の便をとり、指定の窓口へ提出。

◎採便後の容器は提出まで冷蔵所（冷蔵庫や保冷バッグなど）で
保管。容器は密閉されており周囲を汚す心配はありません。

※便は2日に分けてとる方法が一般的ですが、困難な場合は同日に別の便から
採取しても構いません。

※痔から出血があるときや生理中は採便を控えてください。

市民の皆さんへのメッセージ

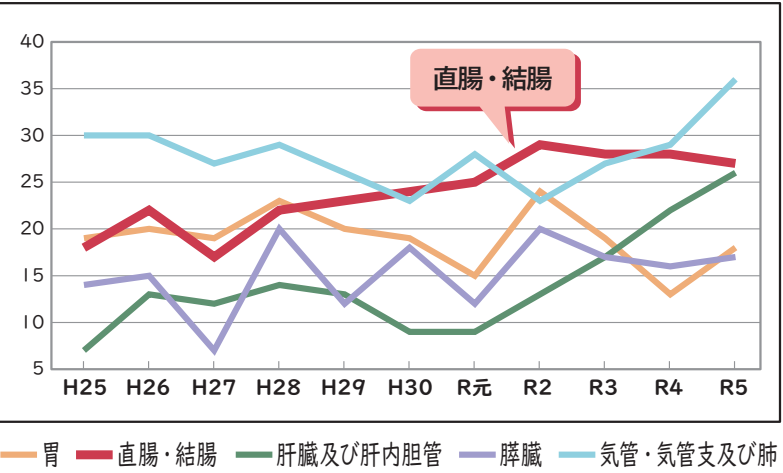
40歳を過ぎたら、年に一度は大腸がん検診をお願いします！
未来の安心は、今の行動から生まれます。あなたの健康は、家族の笑顔にもつながっています。

— 未来の自分に“今”してあげられること —

「自覚症状ゼロ」でも要注意！
今こそ大腸がん検診へ！

申込・問 健康づくり推進課（健康管理センター） ☎82-0105 FAX：82-0106

図① 茅野市悪性新生物の部位別死者数の推移



がんは日本人の死因第1位
特に大腸がんは増えています

日本人の死因で最も多いのは「がん」。日本人の2人に1人が生涯のうちにがんを診断される時代です。

なかでも近年、大腸がんは罹患患者数及び死亡者数も年々増えてきています。これは食生活の欧米化や生活習慣の変化により、全国的な傾向となっています。特に40歳以上の発症リスクが高まっています。

茅野市も同様の傾向にあり、図①のとおり、近年の「がんの部位別死者数」の推移をみても大腸がんにより死亡する方が増えてきています。

大腸がんは早期に見つけて治療すれば、治癒の可能性が高いことがわかっています。しかし、初期の段階ではほとんど自覚症状がないため、気づかぬうちに病状が進行している可能性もあります。検診で早期発見ができれば、治療期間が短くなり、身体への負担や治療費も少なくて済みます。

また、自分自身だけでなく、ご家族の心配や介護負担などの軽減にもつながります。

進行がんは「がん細胞が増殖する前」に発見して治療することが大切になります。

「健康で長生き」、健康寿命を延ばそう！

「健康寿命」とは、介護を受けたり寝たきりになったりせずに、自立して生活できる期間のことです。元気に働き、趣味を楽しむ、家族と過ごす。そんな毎日を続けていくために大切なのが、「健康寿命の延伸」です。

がんの中でも、大腸がんは検診を受けることで、比較的早く見つけることが可能です。いきいきとした毎日を続けるために、年に一度の検診を習慣にしましょう。まずは、大腸がん検診の一つである「便潜血反応検査」を受けましょう。

諏訪中央病院と連携・協働した取組

市民の健康寿命の延伸や医療費削減を目的に、諏訪中央病院との連携、協働による茅野市がん検診プロジェクトとして、**大腸がん検診受診率の向上**を目指しています。共に啓発活動に取り組みとともに、検診機会の提供と勧奨を行っています。

がん細胞の増殖イメージ

